



## 商工業振興対策の拡充を求める

### 平泉商工会が要望書を提出

平泉商工会の高橋幸喜会長(写真左から2人目)らが11月8日に役場を訪れ、コロナ禍の長期化で影響を受ける町内中小企業を支援するために商工業振興対策の強化・拡充を求める要望書を青木町長に提出しました。

要望内容は、新型コロナに伴う会員事業者の影響調査結果からの要望、令和4年度商工会運営費補助金の拡充・強化などの5項目です。



## 地域ぐるみで交通事故を撲滅

### 交通安全母の会が署名簿を提出

町交通安全母の会連合会(小野寺祐子会長)が10月26日、町民4,632人が署名した「高齢者を交通事故から守るための署名運動」と「飲酒運転根絶の署名運動」の署名簿を町に提出しました。署名では、高齢者を交通事故から守るため、車を運転する時は無理をしない運転に努めるなどの7つの項目と、飲酒運転根絶のため酒を飲んだら絶対に運転しないなど5つの実践項目を誓いました。



## 闇夜の幻想風景

### 平泉ブルーライトアップ2021

11月12日から2日間にわたり、平泉ブルーライトアップ実行委員会主催する「平泉ブルーライトアップ2021」が観自在王院跡で開催されました。

この活動は、世界糖尿病デー(11月14日)の期間に合わせ、糖尿病の予防と啓発のため平成25年から毎年開催。庭園中央の舞鶴ヶ池の中島がLED照明でライトアップされると見に来た人々を幻想的な世界へと引き込んでいました。

## 長寿の祝福に感謝を伝える

### 畠山活夫さんが満100歳に到達

11月19日、11月20日に満100歳の誕生日を迎える畠山活夫さん(19区)の百寿を祝い花束と記念品を贈呈しました。畠山さんの自宅に親族や地域の人たちが集まり、青木町長が畠山さんへ花束を手渡すと「ありがとうございます」とはっきりとした口調で応じていました。ご家族によると、畠山さんは食べ物の好き嫌いがなく過ごしてきたことが長寿の秘訣ではないかと話してくれました。



## 給食で「金色の風」の新米を味わう

### きらめき野菜デー関連行事

月ごとに指定した町内の農産物(押しベジ)を使ったオリジナルメニューを提供する「平泉きらめき野菜デー」の関連行事を11月4日に平泉小学校で開催。この日は、JAいわて平泉の協力で給食に町内産の「金色の風」の新米が用意されました。

児童たちはweb会議室システムで別室にいる齋藤副町長と同JA佐藤鉦一代表理事組合長と交流しながら、地元産米を味わいました。



## 高橋悦夫さんが瑞宝単光章を受章

### 令和3年秋の叙勲

令和3年秋の叙勲で、元町消防団第2分団長の高橋悦夫さん(1区)が瑞宝単光章(消防功労)を受章し、11月22日に役場で青木町長へ受章の報告をしました。

高橋さんは昭和46年に消防団に入団以来、平成23年3月に退団するまで分団長などを歴任し、40年間の長きにわたって地域社会の安寧に寄与されました。高橋さんは「受章は、活動を支えてくれた家族と地域の皆さんのおかげ。今後とも引き続き消防活動に貢献したい」と話していました。



## 夜空を彩る鮮やかな紅葉

### 中尊寺「紅葉銀河2021」

紅葉が始まった中尊寺で10月29日から11月14日まで、境内の木々をライトアップする「紅葉銀河2021」が開催されました。参拝客に昼間とは違う雰囲気夜の紅葉を楽しんでもらおうと2017年から企画されたもので、今年で5年目を迎えます。

本堂から金色堂までの参道を中心に照明が設置され、夜空を埋め尽くす赤や黄色に色づいた鮮やかな紅葉が、参拝客を魅了していました。